# ※AIZNOH WORKs で作成した架空会社のサンプルデータ

このレポートは AIZNOH WORKs で作成しました（複数の AI が回答し、まとめ役の AI が統合）
aiznohworks.com 作成日時：2026-11-02 20:20

**ご利用にあたっての注意**

- 本レポートは AI が自動で作成したものです。内容の正確さ・完全さ・最新さは保証しません。
- 事実関係や数値は、独自に調べて確かめたものではありません。ネット検索の結果や「想定」の数値を含むため、重要な点は一次情報でご確認ください。
- 経営・法務・税務・投資などの専門的な助言ではありません。重要な判断の前には、専門家にご相談ください。
- 入力された情報に誤りや不足があると、内容も変わります。
- 本レポートを利用して生じた損害について、当方は責任を負いかねます。

## 前提情報と課題

- **前提（入力した背景の情報）**：（全文は、ZIP の「質問」にあります）
  - アイズノーベーカリー（架空）。地方の商店街の角地にある個人のパン店。従業員*人（店主・家族*人・パート*人）。
  - 売上は月 約*万円。食パン *%、菓子パン *%、焼き菓子・飲み物 *%。
  - 営業は *時〜*時、定休日は水曜。平日の来店は *日 約*人、土日は 約*人。
  - 平日は、夕方（*時以降）に焼いた量の 約*% が売れ残り、廃棄は月 約*万円（原価ベース）。土日はほぼ売り切れる。
  - 値引きは *時から菓子パンを*割引き。予約やネット販売はしていない。
  - 近くにスーパーが*軒あり、夕方は総菜パンを安く売っている。
  - 店主は、焼く量を減らすと品切れが増え、常連が離れるのを心配している。
- **問い**：平日の夕方に売れ残りが多い。廃棄を減らしながら、利益を落とさない方法を知りたい。何から手をつけるべきか。
- **添付資料**：なし
- **検討のしかた**：クイック（AI * つ）
- **作成日**：2026-11-02 20:20

※AIZNOH WORKs で作成した架空会社のサンプルデータ

# 平日の廃棄は記録を先に、品目を絞って製造量を調整する

## 【結論】

**まず平日の商品別記録を取り、売れ残りが多い品目だけ夕方の製造量を試験的に減らします。値引きの前倒しや予約は、記録を基に判断します。**

優先対応（結論から導いた順）

1. **記録** 店主が*月*日まで（比較対象を確保するため）、製造・販売・廃棄数と品切れ時刻を記録する。先に現状を把握する。
2. **製造調整** 店主が*月*日から（記録で対象を選ぶため）、平日の売れ残りが多い品目だけ少量減らす。常連向け商品の品切れに注意する。
3. **利益の検証** 家族が*月*日まで（試行結果を比較するため）、廃棄原価・売上・品切れを集計し、店主が継続を判断する。

## 【根拠】

### 打ち手の一覧と比較

土日はほぼ売り切れるため、平日に絞ります。食パンなどの常連需要は急に減らさず、品切れや取り置き希望も記録します。利益が下がる、または品切れが増える場合は、店主が*月*日の判断時に製造量を戻します。

値引きの前倒しは、廃棄予定品を売れる一方、定価で売れたはずの商品まで安くなるおそれがあります。食パンの予約も選択肢ですが、菓子パンの廃棄が自動的に減るとは限りません。

**AI の活用** パートが商品別の製造・販売・廃棄数と品切れ時刻を入力し、店主が表計算ソフトで曜日・品目別の集計を自動化して、調整対象を選びます。

### 数字 数字の見立て（仮定つき）

廃棄は月約*万円、年*万円で、原価ベースです。平日のみの廃棄とみると、営業日あたり約*円です（前提から計算）。

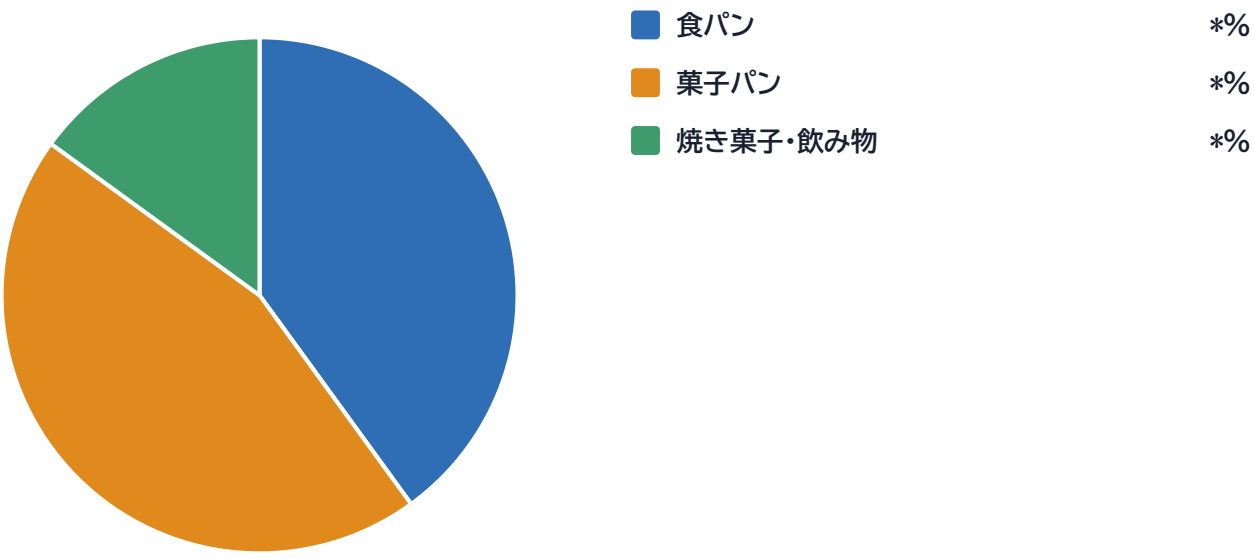
# ※AIZNOH WORKs で作成した架空会社のサンプルデータ

| 製造調整の月間見立て | 金額 |
|---|---|
| 避けられる製造原価 | *万円 |
| 品切れによる粗利減(仮定) | *円(仮定) |
| 追加作業費(仮定) | *円(仮定) |
| 利益改善 | *万円 |

廃棄原価が*%(仮定)減り、その分の製造費を実際に避けられる場合の試算です。固定費が減らなければ改善額は小さくなります。初期費用は含めず、回収期間は要確認です。

値引き案では、廃棄予定品の原価*万円分(仮定)、通常時の原価率*%(仮定)、値引き*%(仮定)なら、追加売上は*万円÷**×*=*万円。利益増はこの売上から包装・人手などの追加費用と、定価販売からの移行による利益減を引いて判断します。廃棄原価*万円の減少を、さらに利益に足すと二重計上です。利益の確定額は要確認です。

**割合の内訳**




**このグラフから:**いまの構成のうち、どこが大きいかを見て、重点の置き方を考える

会社の情報より

## 一致 共通点

平日夕方の廃棄を減らし、製造量や売り切りを見直す方向は共通しています。記録を使って需要を把握する点も共通です。

# ※AIZNOH WORKs で作成した架空会社のサンプルデータ

## 割れた AIの意見が割れた点

- 製造量 AI No.1 は対象品目を絞った少量調整、AI No.3 は夕方の焼き増し停止を提案。停止で品切れが起きないとは言えず、前者を先に採ります。
- 値引き AI No.2 はセット値引き、AI No.3 は前倒しを提案。AI No.1 は利益を確かめてからとし、今回は慎重案を採ります。

## 注意 尖った指摘(*つの AI のみ)

AI No.2 の食パン取り置き予約は、常連の品切れ不安を減らす手段です。店主が*月*日の検証時に希望件数と受け渡しの手間を確認し、導入を判断します。

## 進める前に それでも進めるなら整理すべき点

店主が*月*日の検証時に、次を決めます。

- **焼き増しを一律停止するなら** 品切れ時の取り置き・次の焼き時間の案内と、機会損失の記録方法。
- **値引きを前倒しするなら** 対象・時刻・価格、定価販売からの移行を含む利益判定と、通常価格の正確な表示。
- **小容量・ばら売りをするなら** 包装費と作業負担。近隣スーパーとの価格比較方法も併せて決めます。

## 【確認したいこと】

Q1 **廃棄の多い品目・時間帯と、夕方の品目別製造調整は可能ですか？** 仮説:特定品目を調整可能。難しければ予約や売り切りを先に検討します。

Q2 **商品別原価、品切れによる販売機会損失、夕方の来店状況は？** 仮説:上記の製造調整試算の範囲。粗利減が大きければ減産幅を縮めます。

Q3 **食パンの取り置き希望と、値引き前の販売実績は？** 仮説:希望は未把握。予約需要が十分なら予約を試し、定価販売からの移行が多ければ値引き前倒しを見送ります。

## 【データ・参考の欄】

会社情報：月売上約*万円、月来店約*人、客単価約*円（後の*点は前提から計算）。

要確認 食品リサイクル法の定期報告の対象となるか。食品廃棄物等の年間発生量が不明です。

# ※AIZNOH WORKs で作成した架空会社のサンプルデータ

## 出典 出典(ウェブで調べたもの・調べた日 2026-11-02)

| 番号 | 種別 | 題名 | URL | 情報の年度 | レポートでの使用 |
|---|---|---|---|---|---|
| E1 | 公的機関・公的統計 | e-Gov 法令:不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)第5条(不当な表示の禁止) | [サンプル非公開] | 2026年 | 参考 |
| E2 | 公的機関・公的統計 | e-Gov 法令:食品ロスの削減の推進に関する法律 第5条(事業者の責務) | [サンプル非公開] | 2019年 ⚠古い | 参考 |
| E3 | 公的機関・公的統計 | 我が国の食品ロスの発生量の推計値(令和5年度)の公表について | [サンプル非公開] | 2023年 ⚠古い | 参考 |
| E4 | 企業の発表・その他 | 【2026年最新】令和6年度食品ロスの発生量の推計値について | [サンプル非公開] | 2026年 | 参考 |
| E5 | 公的機関・公的統計 | 令和4年度の事業系食品ロス量が削減目標を達成！:農林水産省 | [サンプル非公開] | 2022年 ⚠古い | 参考 |
| E6 | 企業の発表・その他 | 食品リサイクル法を分かりやすく解説！対象と定期報告の概要まで | [サンプル非公開] | 2024年 | 参考 |
| E7 | 公的機関・公的統計 | 食品ロス削減関係参考資料 (令和5年6月9日版) 消費者庁消費者教育推進課 食品ロス削減推進室 | [サンプル非公開] | 2023年 ⚠古い | 参考 |
| E8 | 報道 | スーパーのロッキー、食品ロス削減に向け需要や適正価格を予測するAIシステムを実証実験 - DIGITAL X(デジタルクロス) | [サンプル非公開] | 2026年 | 参考 |
| E9 | 業界団体・公益法人 | 食品ロス削減に資する 新技術リスト 本リストは農林水産省の補助事業「食品ロス削減等課題解決事業新技術の導入促進調査等事業」の | [サンプル非公開] | 不明 | 参考 |
| E10 | 企業の発表・その他 | 食品ロス問題におけるスーパーの取り組み事例 10選 ～現状・原因から詳しく解説～ - Expiry Management (旧Semafor) | [サンプル非公開] | 2025年 | 参考 |
| E11 | 企業の発表・その他 | スーパーにおける食品ロス削減に向けた取り組みと導入事例｜お役立ちコラム｜サトー | [サンプル非公開] | 不明 | 参考 |

## ※AIZNOH WORKs で作成した架空会社のサンプルデータ

| 番号 | 種別 | 題名 | URL | 情報の年度 | レポートでの使用 |
|---|---|---|---|---|---|
| E12 | 企業の発表・その他 | フードロス削減のために効果的な取り組み6選！食品ロスを減らして社会貢献 | [サンプル非公開] | 2025年 | 参考 |

⚠ は、3 年以上前の情報です。最新の状況と違う可能性があるので、使うときは、最新の資料で確認してください。

「不明」は、情報の年度が、分かる範囲で見つからなかったものです。

### このレポートの生成方法

このレポートは、次の役割分担で生成しました。各 AI は、ほかの AI の検討を見ずに考え、まとめ役が、割れた点を残して 1 つにまとめています。

| 項目 | 立場・役割 | 補足（説明） |
|---|---|---|
| **方式** | 3 社の AI・要点をすばやく（M3L） | M3L（3 社の AI・要点をすばやく）：開発元の違う 3 つの AI に別々に聞き、まとめ役の AI が、要点を 1 つのレポートにまとめます。ねらい：開発元の違う 3 社の AI の見方を、短い時間で、要点にしぼってお届けします。 |
| AI No.1 | 個性の指定なし | 開発元の違う AI が、自由に考える |
| AI No.2 | 個性の指定なし | 開発元の違う AI が、自由に考える |
| AI No.3 | 個性の指定なし | 開発元の違う AI が、自由に考える |
| **まとめ役の AI** | 全体を見渡す司会役の AI | 各 AI の検討を読み、割れた点を残して 1 つにまとめる |
| **複数にした効き目** | 割れた点 2 件／1つの AI だけの指摘 1 件／確認したいこと 3 件 | 複数の AI で見ると、1 つの AI では出ない「割れた点」と「1つの AI だけの指摘」が出ます。 |